

## 第2回検討委員会での各委員からのご意見等への対応について

※文中におけるページ数は、今回お配りした素案のページで表示しております。

番号	発言委員	該当箇所	ご意見の内容	事務局の考え方及び対応
1	上内委員	P 8 大きく変化することが予想される環境	新型コロナウイルス感染症を含めた危機管理に関する内容の記載が必要ではないか。	P 8 「大きく変化することが予想される環境」に「(12) 新型コロナウイルス感染症に対応した新しい時代の学校教育」として記載しました。
2	田中委員	P 29 「加古川ならではの」教育の推進「かこがわスマート・リンク」	加古川市の教育の特色というより、重点取組テーマのような形で打ち出す方が分かりやすいのでは。	ユニット・スマート・ハートフルを「3つの教育の特色」から、基本理念や目指すべき人間像を実現するために、重点的に取り組む「3つの柱」という位置づけに改め、それらをつなぐ「加古川ならではの」教育の推進「かこがわスマート・リンク」としました。 また、それらの関連を分かりやすく表現するため、P30に構成のイメージ図を記載しました。
3		P 35～36 計画体系図		基本的方向と重点目標、具体的な方針の関連を一見して把握できるように、計画体系図を掲載しました。 各重点目標について、3つの柱のうち関連が深いものが分かるようユニット（U）・スマート（S）・ハートフル（H）のアルファベットを記載しました。
4	安藤委員長 菅原委員	P 32 中学校区連携ユニット12から 学校園連携ユニットへ	中学校区連携ユニット12から地域との連携を分離させるという表現は違和感があるため、記載内容を工夫する必要がある。	学校運営協議会の設置を進めることにより、ヨコ（家庭・地域）の連携をさらに推進するとともに、中学校区連携ユニット12については、学校園連携ユニットへ移行させて、タテ（校種間）の連携に特化し、さらに推進していくという内容に修正しました。
5	安藤委員長 田中委員	P 37～62 具体的な方針	内容が重複する項目については、統合してもよいのでは。	P 38 「地域コーディネーター、学校園支援ボランティアとの連携・協働の充実」と「学校運営協議会と地域学校協働活動の連携」については、内容が重複する部分が多いため、前者に統合しました。
6				P 38 「学校マネジメント機能の強化」と「学校園評価を活用した学校運営改善」とについては、内容が重複する部分が多いため、前者に統合しました。
7				P 39 「小1プロブレム、中1ギャップの緩和に向けた取組の充実」と「「スタートカリキュラム」「アプローチカリキュラム」の活用」については、内容が重複する部分が多いため、前者に統合しました。

## 第2回検討委員会での各委員からのご意見等への対応について

※文中におけるページ数は、今回お配りした素案のページで表示しております。

番号	発言委員	該当箇所	ご意見の内容	事務局の考え方及び対応
8				P43 「自立と協同の態度を培う多様な体験活動の充実」「心身の調和のとれた発達の基礎の育成」については、内容が重複する部分も多いため、前者に統合しました。
9				P46 重点目標⑤の項目「ICTを有効活用した協働学習の推進」と重点目標⑥の項目「ICTを活用した学習活動の充実」については、内容が重複する部分も多いため、後者に統合しました。
10				P50 「加古川ウェルネスアプリを活用した健康教育」と「食育、健康教育の推進」については、内容が重複する部分も多いため、内容を整理し、「食育の推進」と「健康教育の推進」に修正しました。
11				P51・52 「学びの継続による特別な支援に関するさらなる専門性の向上」「加古川養護学校のセンター的機能の充実」「福祉、医療との連携強化」については、それぞれの内容が個別具体的なものであるため「多様な教育的ニーズに応じた相談・支援体制の充実」に統合しました。
12				P54 「教育相談センターの充実」「心のケアに関する指導の充実」については、内容が重複する部分も多いため、「子どもの心に寄り添う相談体制の充実」に統合しました。
13				P54 「フリースクール等との連携」「不登校児童生徒への支援の充実」「安心して学べる多用な学びの場の構築」については、内容が重複する部分も多いため、統合し「不登校児童生徒への支援の充実と多様な教育機会の確保」としました。
14				P55 「教育委員による学校園への積極的な関わりの充実」「総合教育会議における協議・調整」については、内容を統合し「教育委員会の機能の充実」としました。

## 第2回検討委員会での各委員からのご意見等への対応について

※文中におけるページ数は、今回お配りした素案のページで表示しております。

番号	発言委員	該当箇所	ご意見の内容	事務局の考え方及び対応
15	田中委員	P38 青少年関係団体等との連携強化	「活動支援」という表現よりも「連携強化」の方が適切なのでは。	「青少年関係団体等との連携強化」に変更しました。
16	澤田委員	P52 外国人児童生徒への支援 「性的マイノリティ」とされる児童生徒への理解	障がいを持つ子どもへの対応という印象が強くなるような構成となっているので、障がいだけではなく、様々な配慮や支援が必要な子どもへの対応がわかりやすい記載にすべきでは。	上記10により、項目を統一し、「外国人児童生徒への支援」及び「性的マイノリティ」とされる児童生徒への理解」の項目を追加しました。
17	徳田委員	P55 教育委員会及び学校園の取組に関する情報発信の充実	学校や教育委員会の取組等を市民が知らないことも多い。情報発信の方法を考えていただきたい。	「教育委員会及び学校園の取組に関する情報発信の充実」の項目を追加しました。
18	田中委員	P58 教材・教具の整備の推進	学校においてハード面以外の環境整備についても記載があった方がよいのでは。	「教材・教具の整備の推進」の項目を追加しました。